

令和3年度 第3回県政参画電子アンケート
「地球温暖化防止のため、ゼロカーボン(脱炭素)に向けた県民運動」
に関するアンケート結果概要

1 調査概要

- テーマ 「地球温暖化防止のため、ゼロカーボン(脱炭素)に向けた県民運動」
に関するアンケート
- 実施期間 令和3年10月8日～10月22日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 681名
- 回答数 453名(回答率 66.5%)

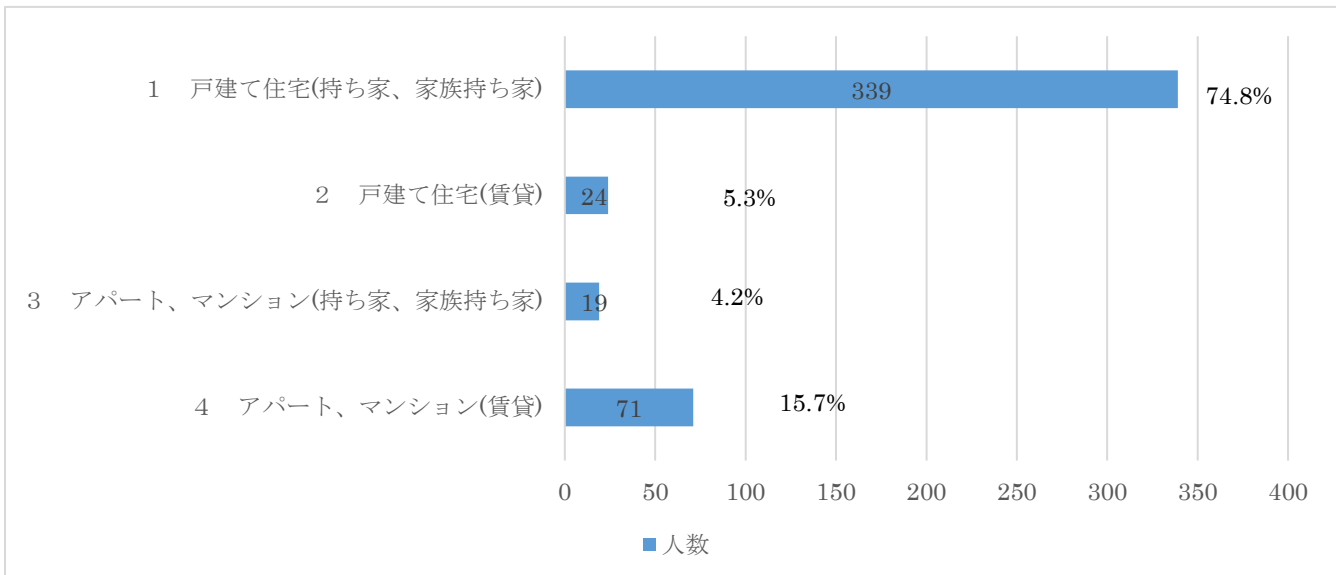
2 目的・概要

米国のパリ協定への復帰、地球温暖化対策推進法の改正など、2050年には地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」の実現に向けて国・世界が大きく動き出していることを契機に、鳥取県でも地球温暖化防止活動を県民運動としてさらに進めていく必要があります。

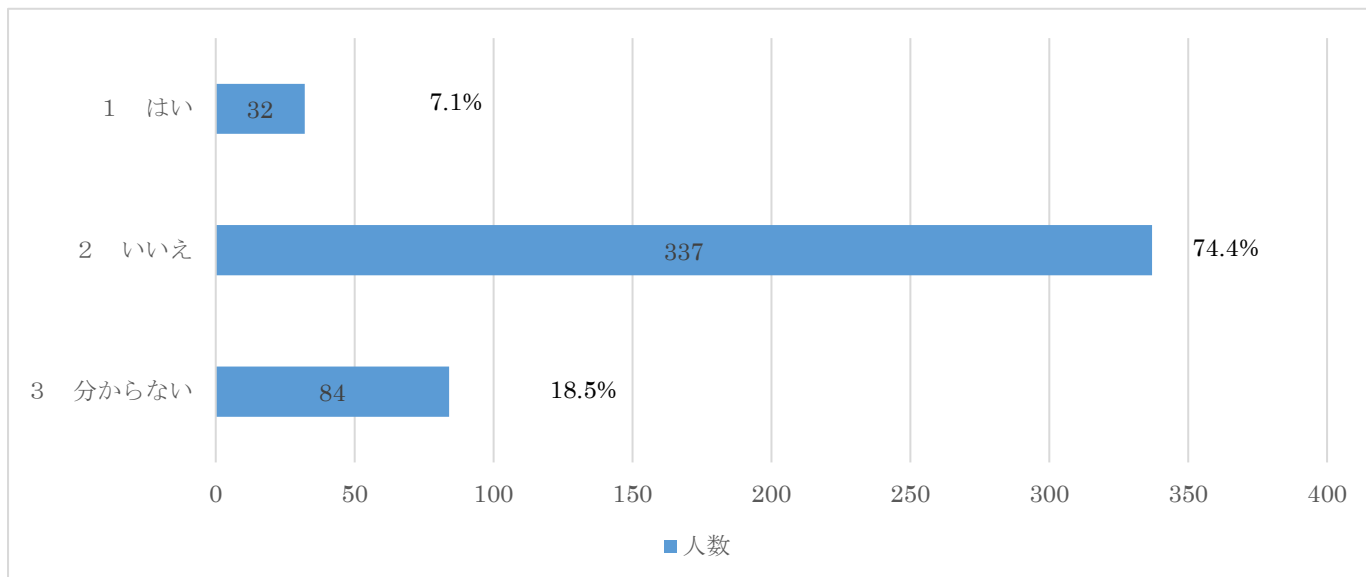
このような背景の下、鳥取県では「太陽光発電設備の導入促進」「電気自動車の普及促進」「とっとり健康省エネ住宅の導入促進」に重点的に取り組むことを考えています。

については県民の皆様一人ひとりが脱炭素ライフスタイルへの転換を図り、他人事ではなく自分事として取り組む主体性を持ちながら、我慢するのではなく、快適に、健康的に省エネに取り組むために、どうい方法が良いのか検討する基礎データとするため実施しました。

【問1】あなたのお住まいの居住形態について教えてください。

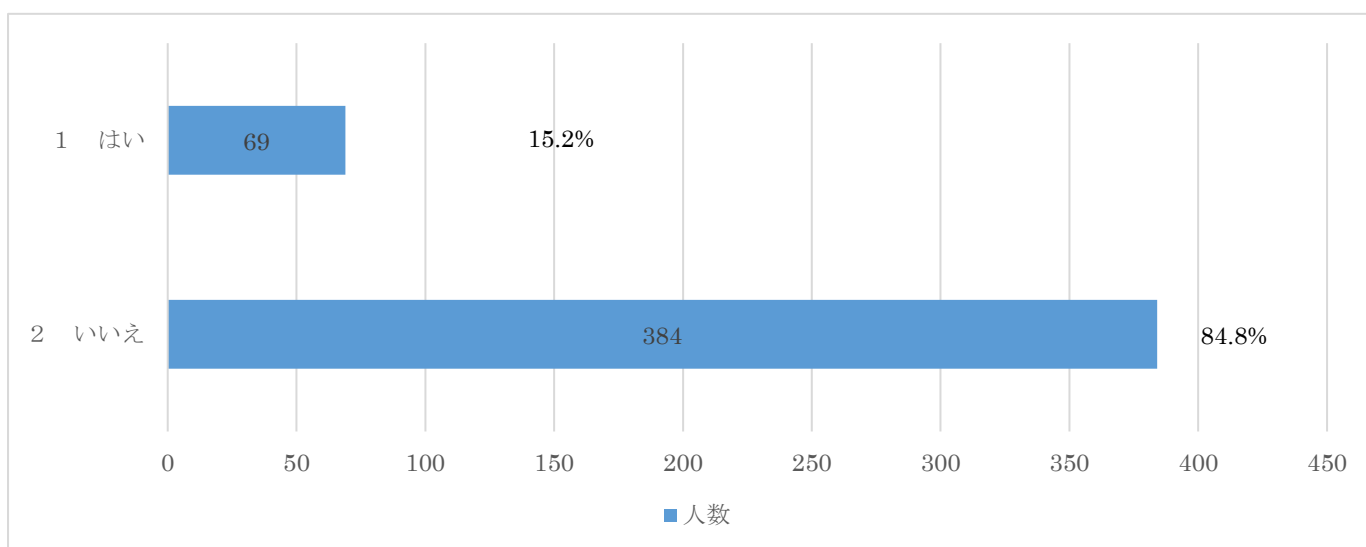


【問2】今後、戸建て住宅を新築、購入する予定がありますか。

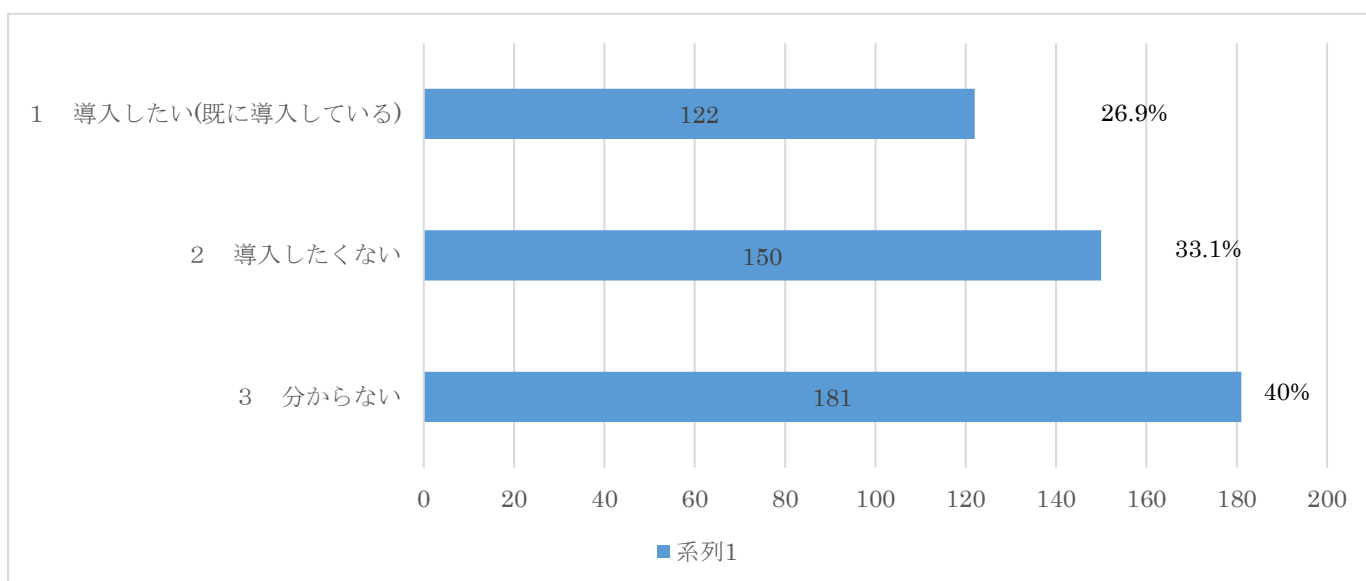


○太陽光発電設備の導入促進

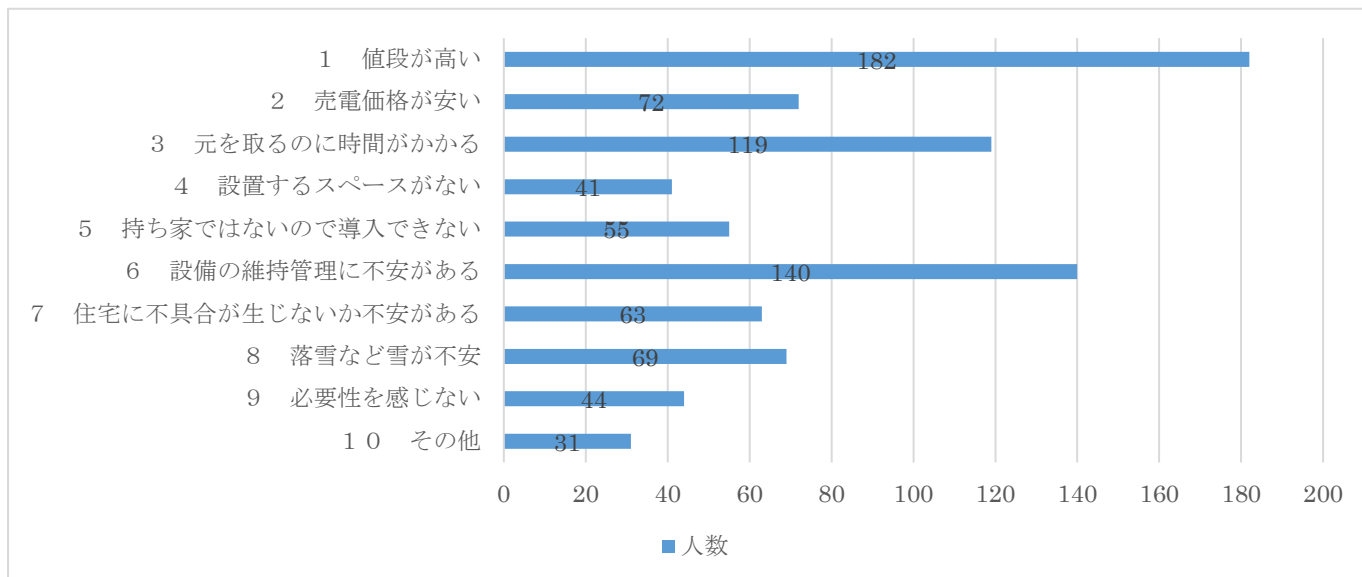
【問3】自宅に太陽光発電設備を所有していますか。



【問4】自宅に太陽光発電設備を導入したいと思いますか。



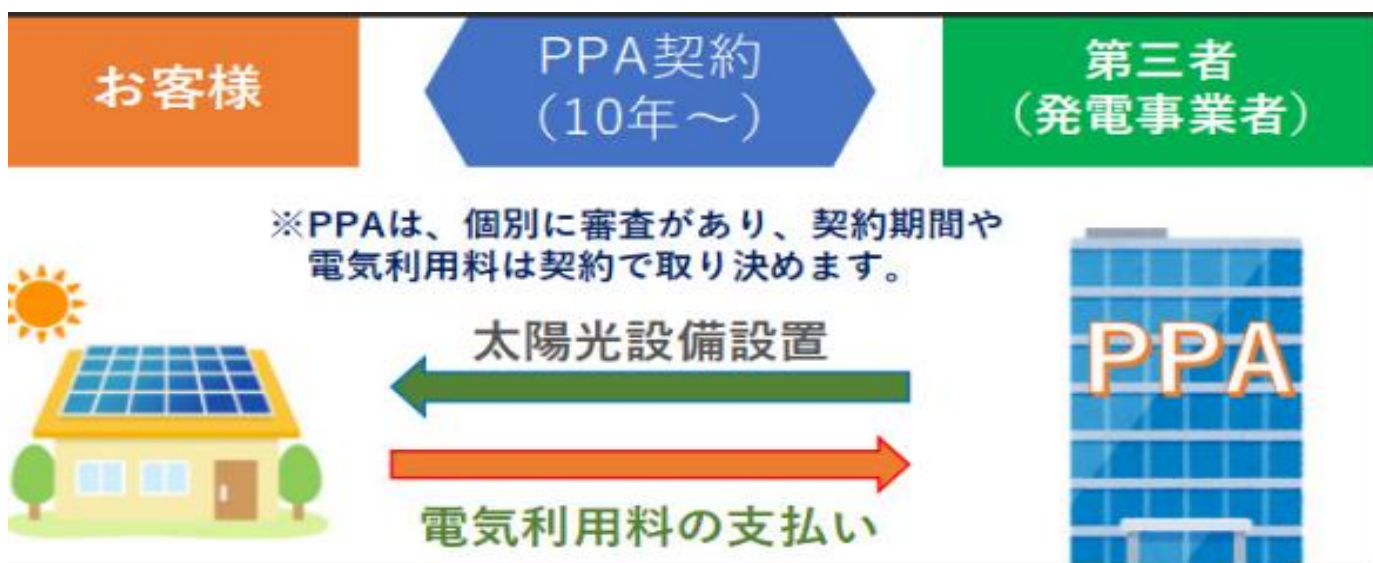
【問5】問4で「2」「3」を選択された方にお伺いします。導入したいと思わない理由はなんですか。



※複数回答、回答者331名

PPA モデル

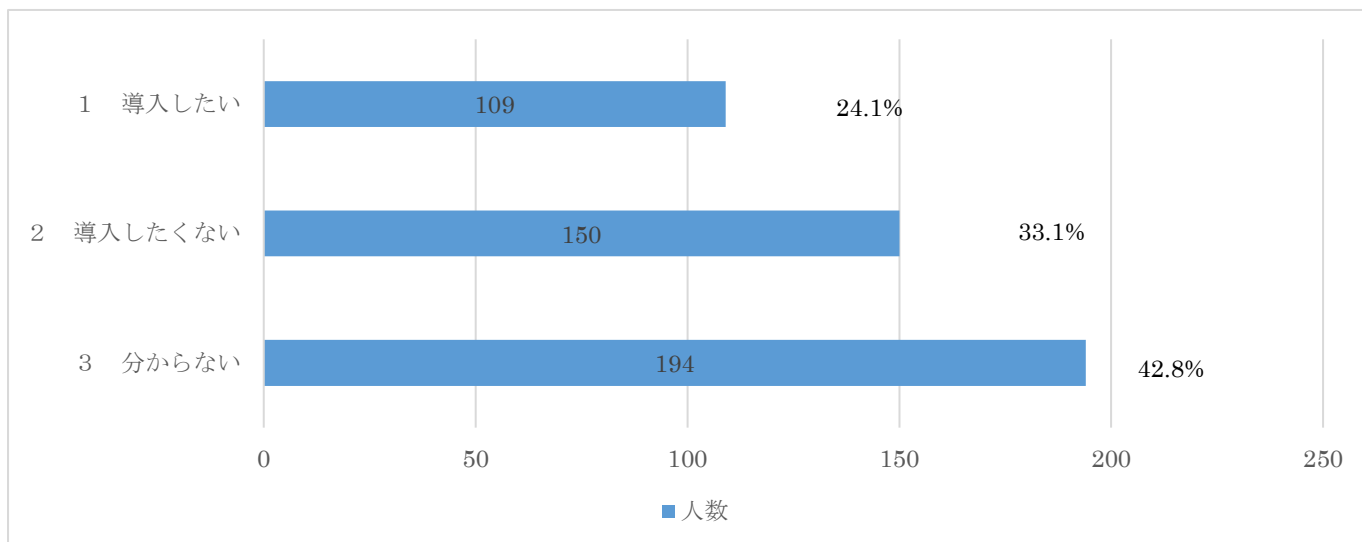
自宅の屋根を民間の発電事業者に貸し出して、同事業者が太陽光発電設備を設置し、自宅の所有者は初期投資の費用負担ゼロで太陽光発電設備を設置し、発電電力を自家消費するPPAモデルという制度があります。



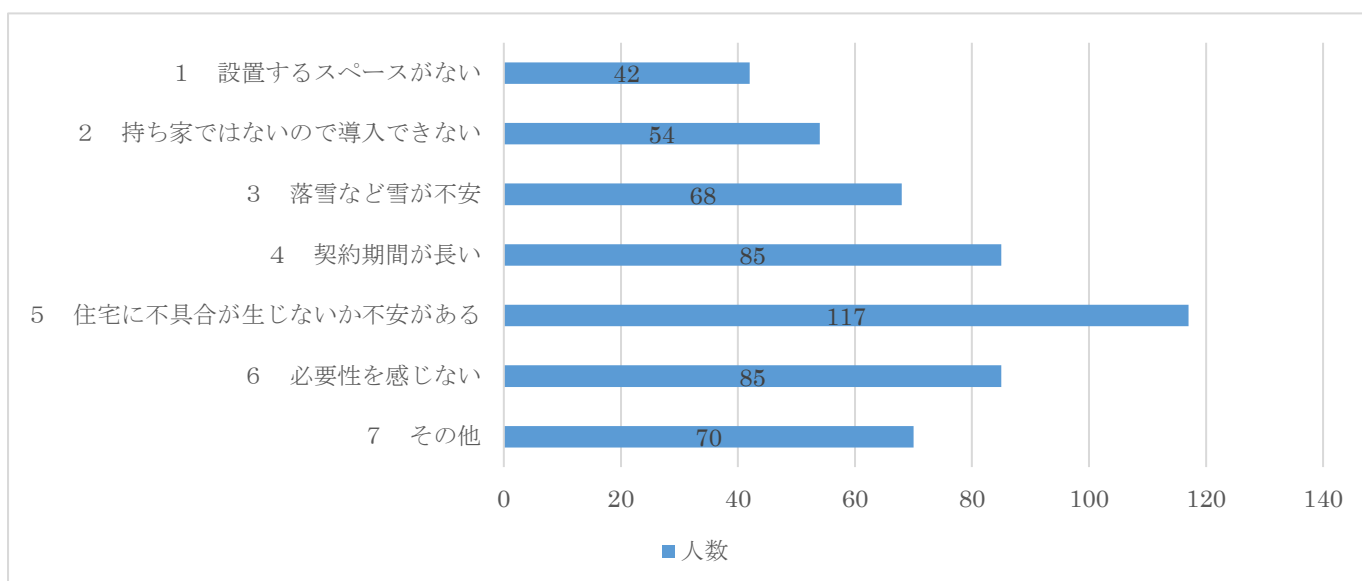
PPA モデルのメリット・デメリット

- ・初期投資の費用負担ゼロで、発電事業者が無償で太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーを利用できます。
- ・太陽光発電設備から生じた電力は有料ですがいつでも使用可能で、電気料金は従来単価より低額となることを想定しています。
- ・契約終了後(10～20年程度)は、多くの場合、太陽光発電設備は無償で譲渡され、それ以降は太陽光発電設備による電気料金は不要ですが、自らの維持管理が必要です。
- ・発電事業者との契約を途中解約すると太陽光発電設備費用の一部を負担する必要があります。

【問6】PPA モデルを活用して太陽光発電設備を導入したいと思いますか。



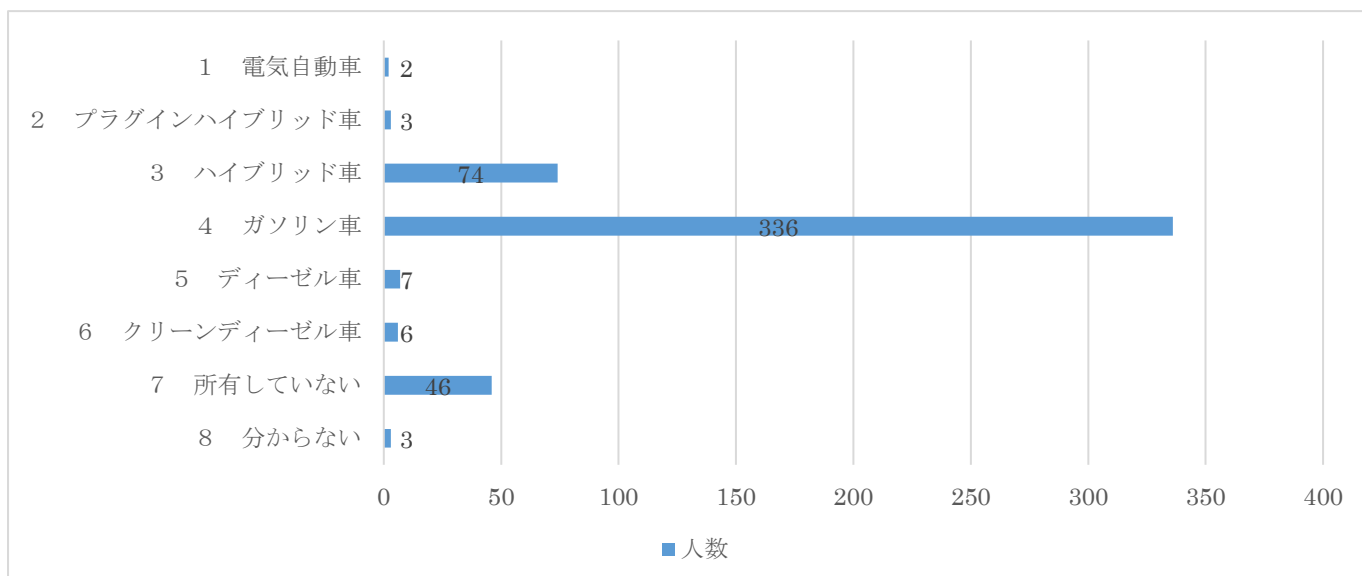
【問7】問6で「2」「3」を選択された方にお伺いします。導入したいと思わない理由は何ですか



※複数回答、回答者344名

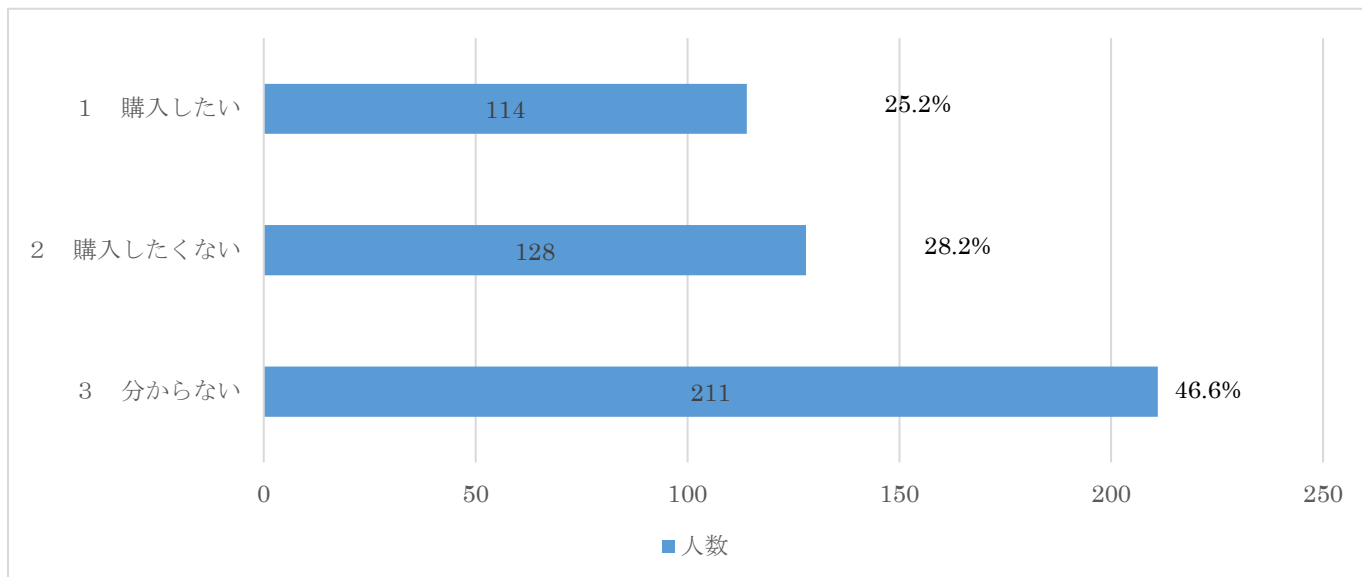
○電気自動車の普及促進

【問8】あなたはどのような自動車を所有していますか。

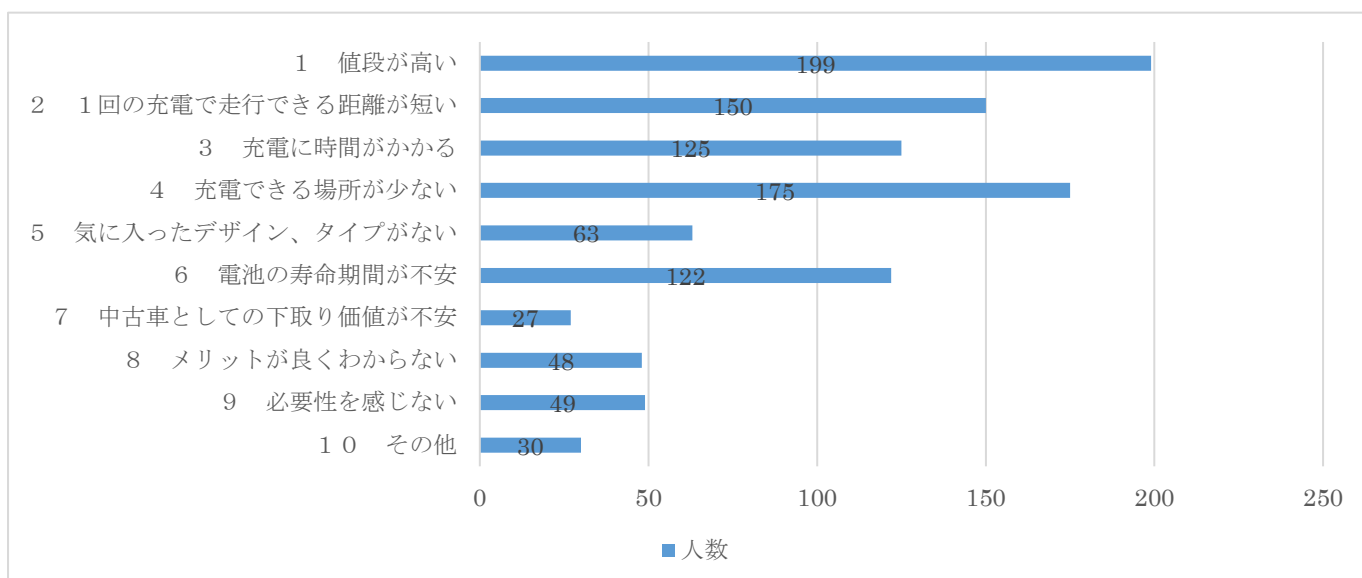


※複数回答、回答者453名

【問9】今後自動車を新しく購入するとしたら、電気自動車を購入したいと思いますか。

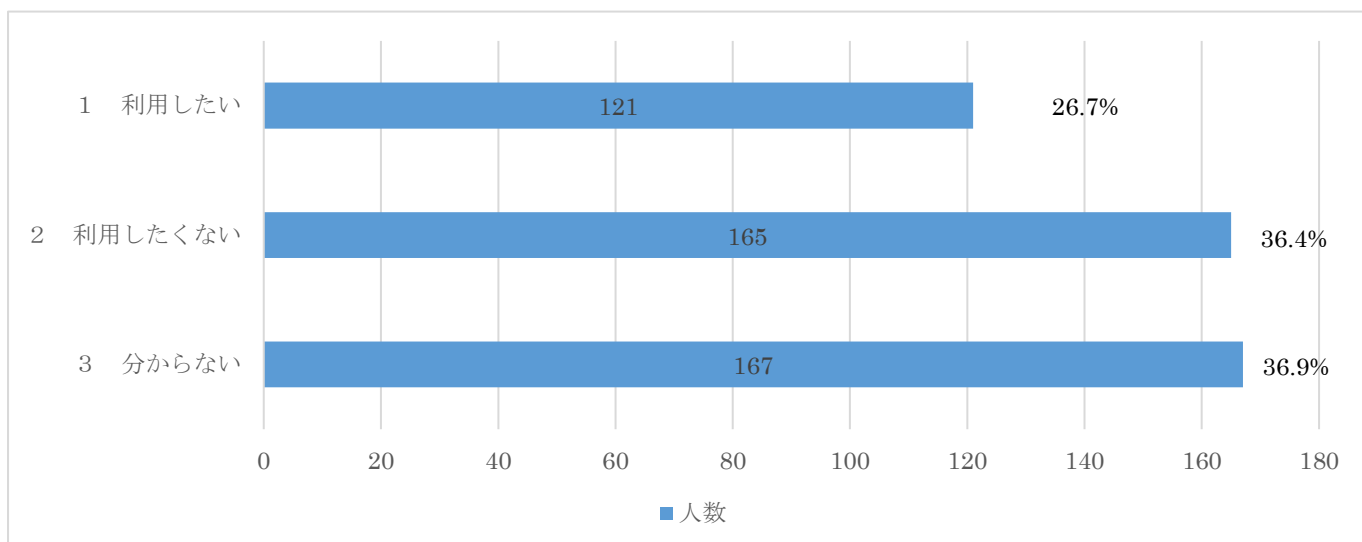


【問10】問9で「2」「3」を選択された方にお伺いします。購入したいと思わない理由は何ですか。



※複数回答、回答者339名

【問11】初期費用の必要がない月額リース払い(購入・所有ではない)の電気自動車について利用したいと思いますか。

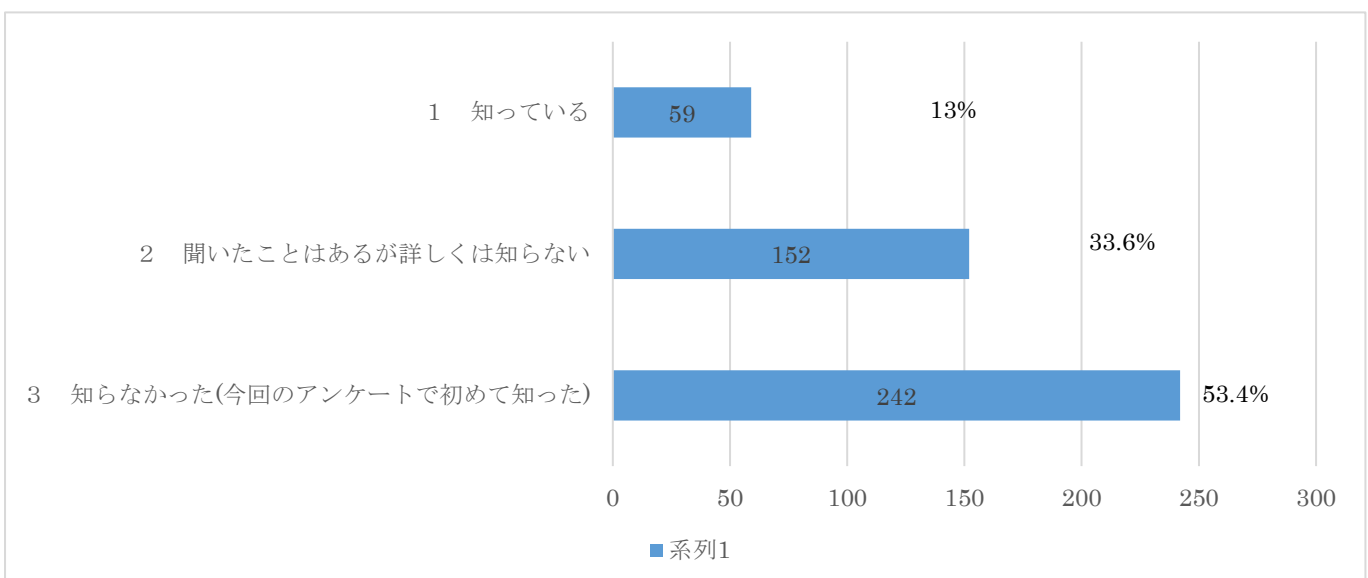


V2H(Vehicle to Home)

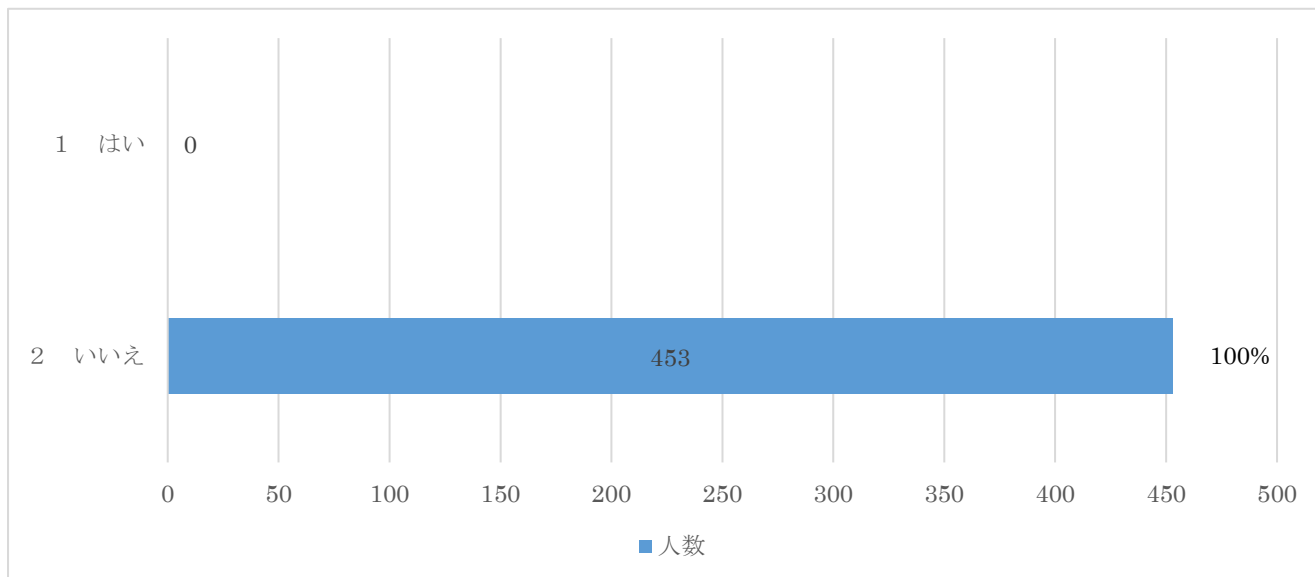
太陽光発電設備から充電し、電気自動車に電気をため、その電気を夜間や停電時などに住宅で使用することができる「V2H(Vehicle to Home)」という装置があります。
「電気自動車-V2H-太陽光発電設備」の仕組みをうまく組み合わせれば、電気を電力会社から購入する必要がなくなり、余った電気を売電することも可能となります。



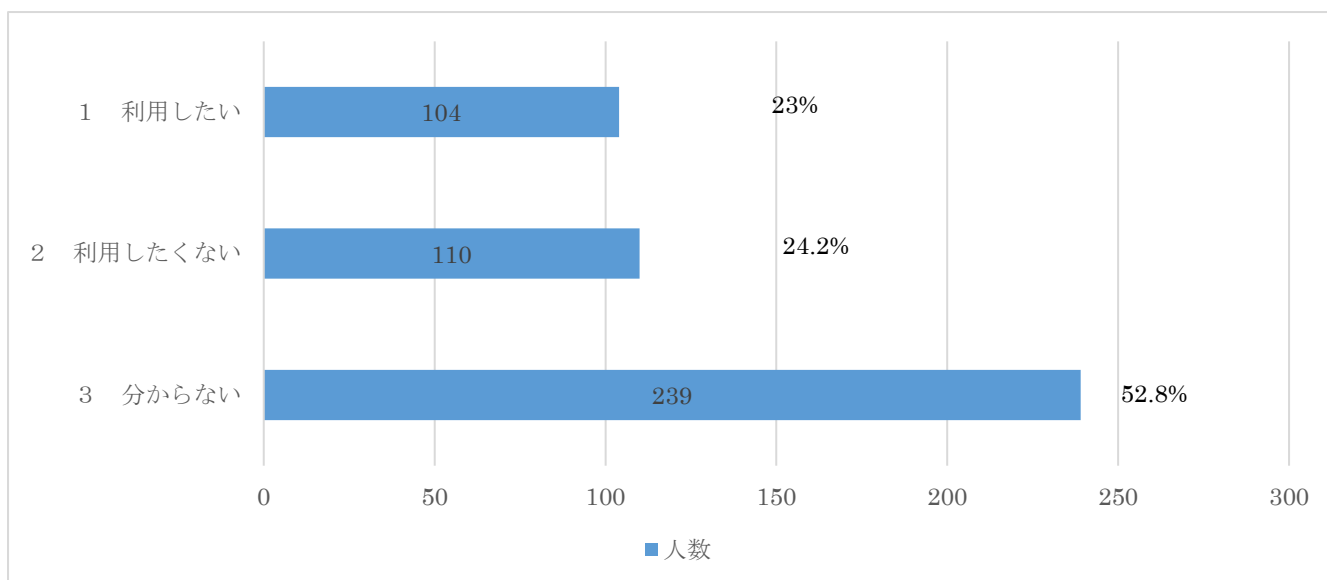
【問13】V2Hのことを知っていますか。



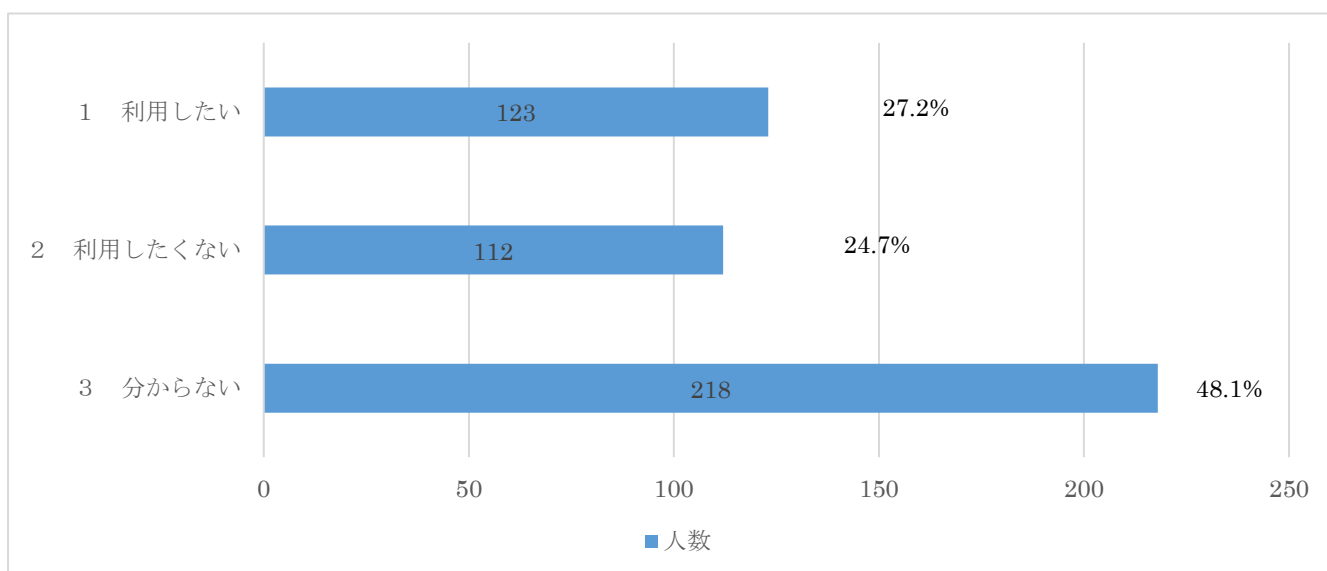
【問14】V2H の設備を所有していますか。



【問15】初期投資が必要ない月額リース払いができれば利用したいと思いますか。



【問16】太陽光発電設備、V2H、電気自動車の3点セットをまとめて初期投資が必要ない月額リース払いができれば利用したいと思いますか。



〇とっとり健康省エネ住宅性能基準(NE-ST(ネスト))の導入促進

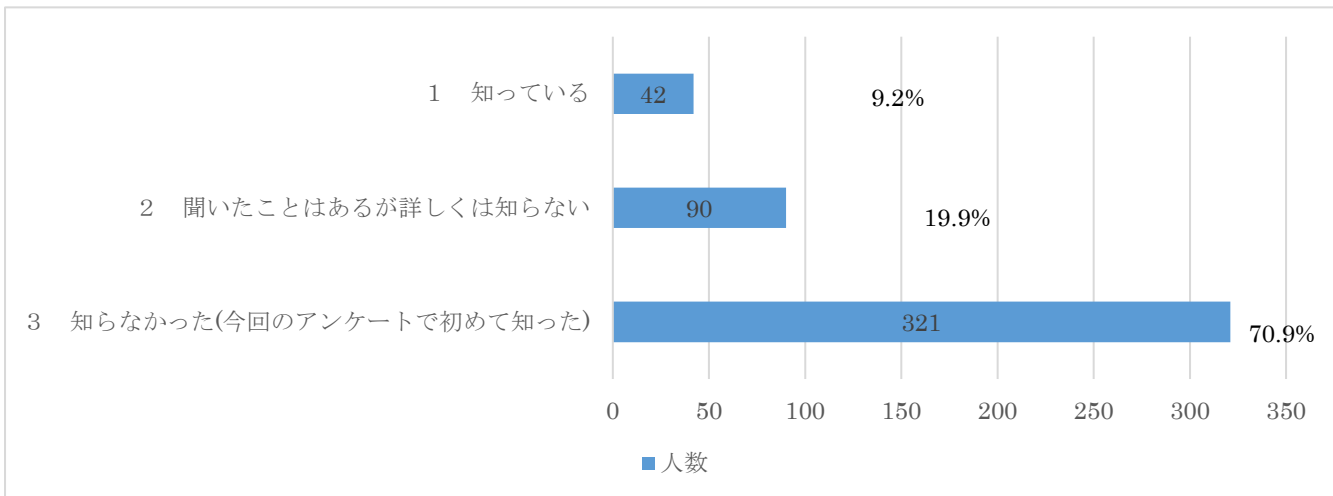
国の基準を大幅に上回る鳥取県独自の住宅性能基準です。高断熱、高气密の家を実現することで光熱費を抑えることができるため、長期的(5~35年程度)に見れば工事費を含めても経済的であるほか、室温差が少ないことから冬季のヒートショックが起きにくく健康的に暮らせる基準となっています。

この基準に適合する戸建住宅に対しては、鳥取県が補助金を整備しており、最大50万円の補助金を出しています。

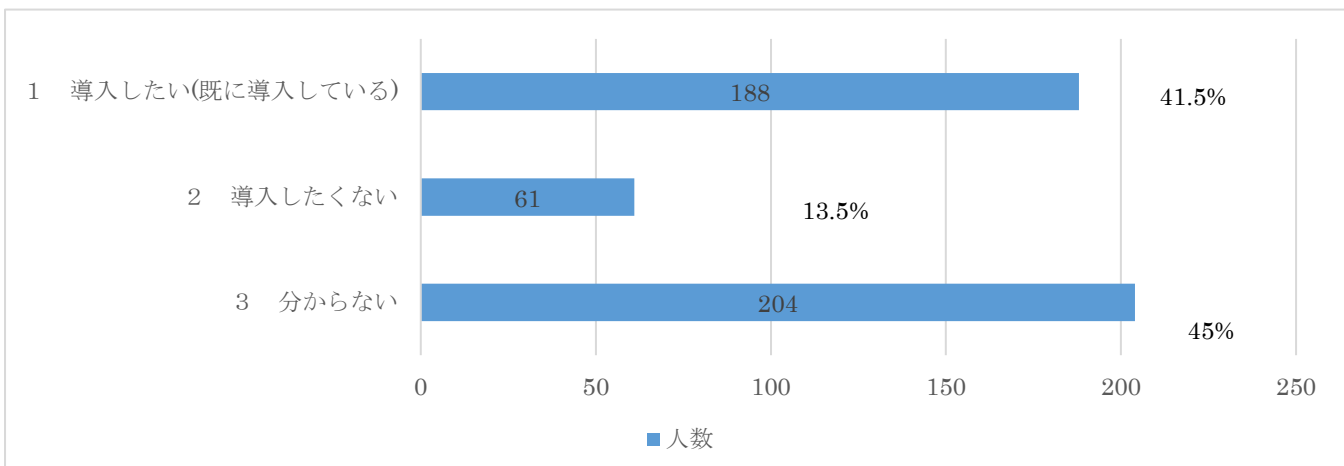
区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑えるために必要な最低限のレベル	経済的で快適に生活できる推奨レベル	優れた快適性を有する最高レベル
断熱性能 U_A 値 [W/m ² K]	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値 [cm ² /m ²]	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
住まいる上乗せ額	—	—	定額10万円	定額30万円	定額50万円
住まいる最大助成額			最大110万円	最大130万円	最大150万円
世界の省エネ基準(U_A 値)との比較					

※ 欧米基準はエネルギー量を指標としており、上記の U_A 値は普及している断熱性能の標準的な値を示す。

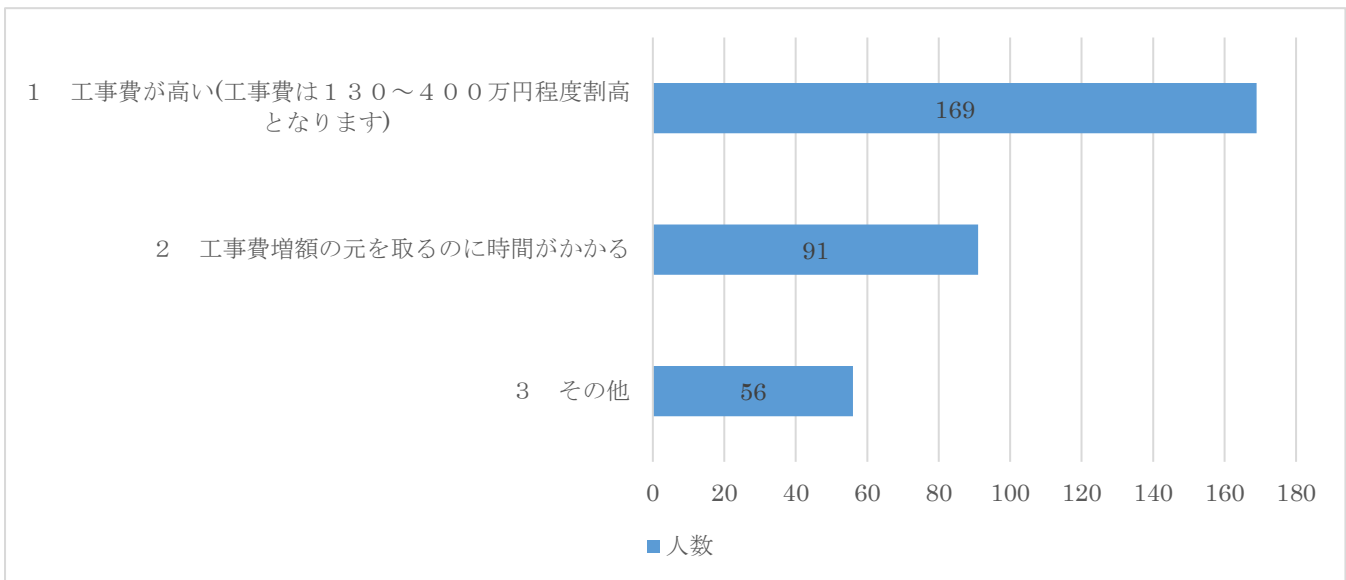
【問18】とっとり健康省エネ住宅性能基準(NE-ST)を知っていますか。



【問19】あなたが今後自分の家を新築又は購入するときに、NE-STを導入したいと思いますか。



【問20】問19で「2」「3」を選択された方にお伺いします。導入したいと思わない理由は何ですか。

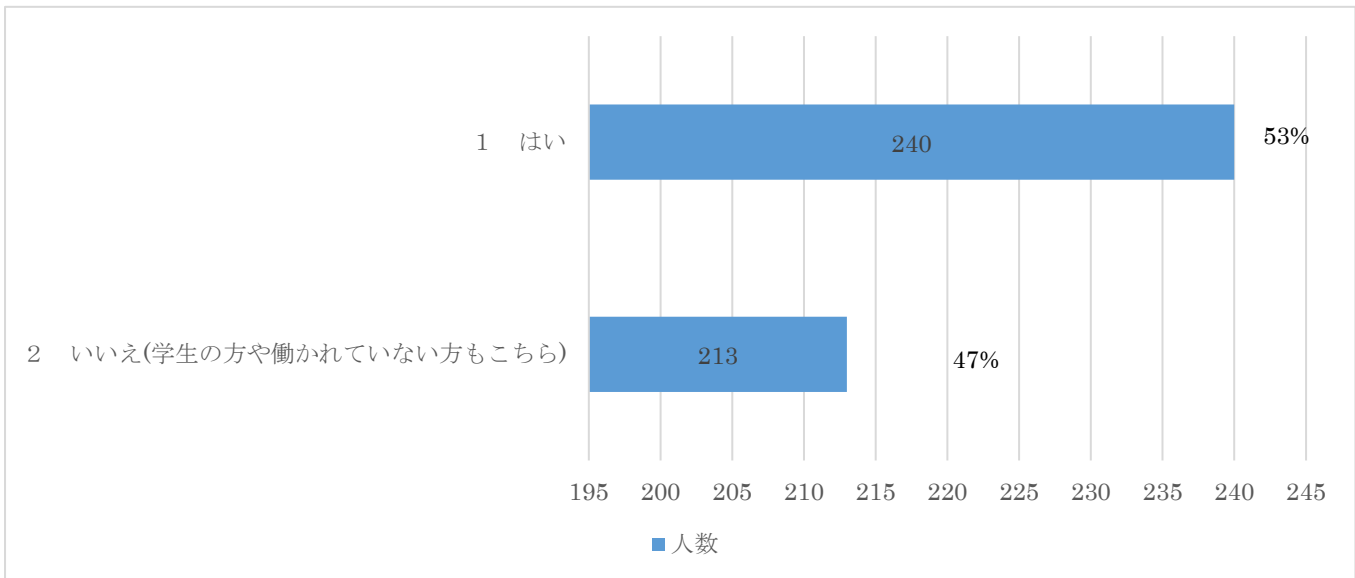


※複数回答、回答者265名

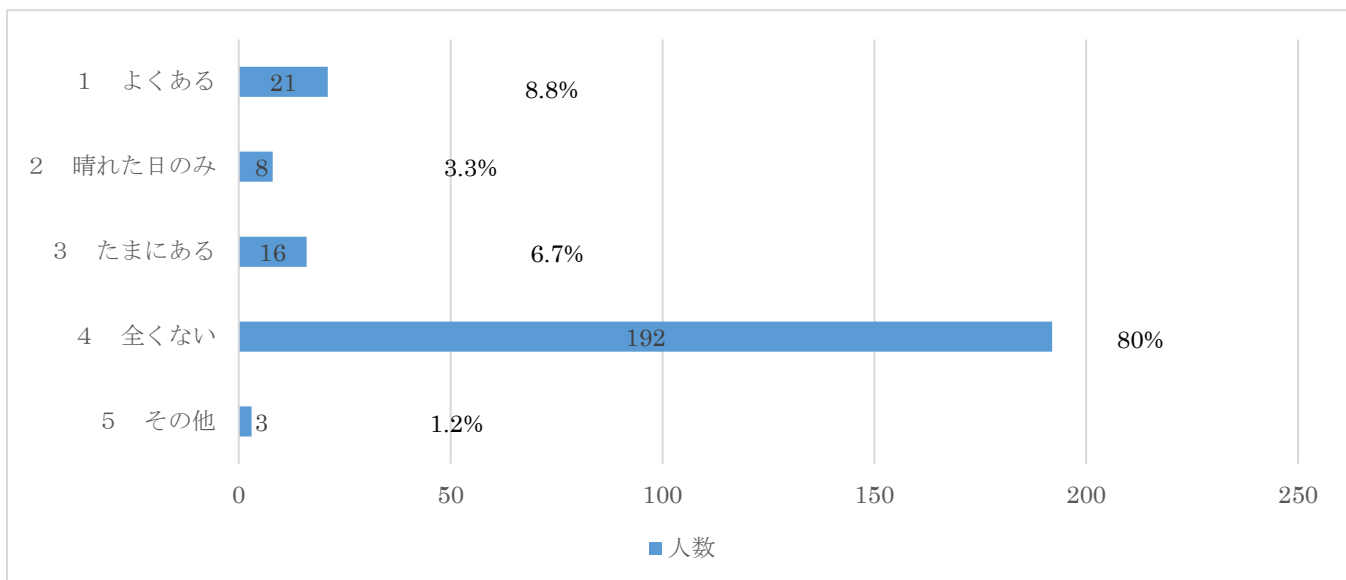
○通勤時の自転車利用の促進

鳥取県では自家用車の所有率が高く、家庭におけるガソリン使用量割合が全国の中でも高くなっています。CO2削減のためにはガソリン車の使用抑制が必要となりますが、その一つとして通勤における自転車利用が考えられます。自転車通勤は、環境にやさしいだけでなく、運動不足の解消や健康増進(体重や血圧等の数値の改善)につながるとともに、ストレス発散にも効果があるといわれています。なお、鳥取県では安全な自転車利用を促進するため、鳥取県支え愛交通安全条例において、自転車利用時のヘルメット着用を推進しています。

【問21】普段、自動車通勤をしていますか。(自動二輪車を含む)

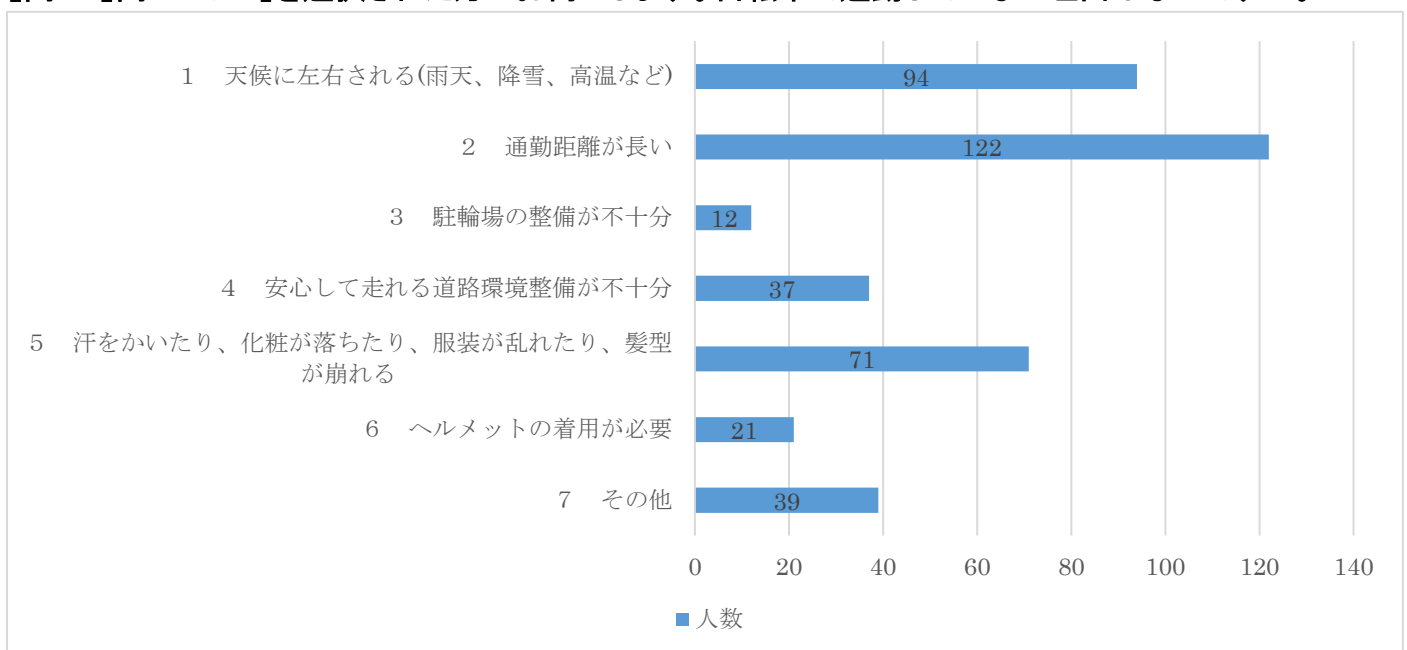


【問22】問21で「1」を選択された方にお伺いします。自転車で通勤することがありますか。



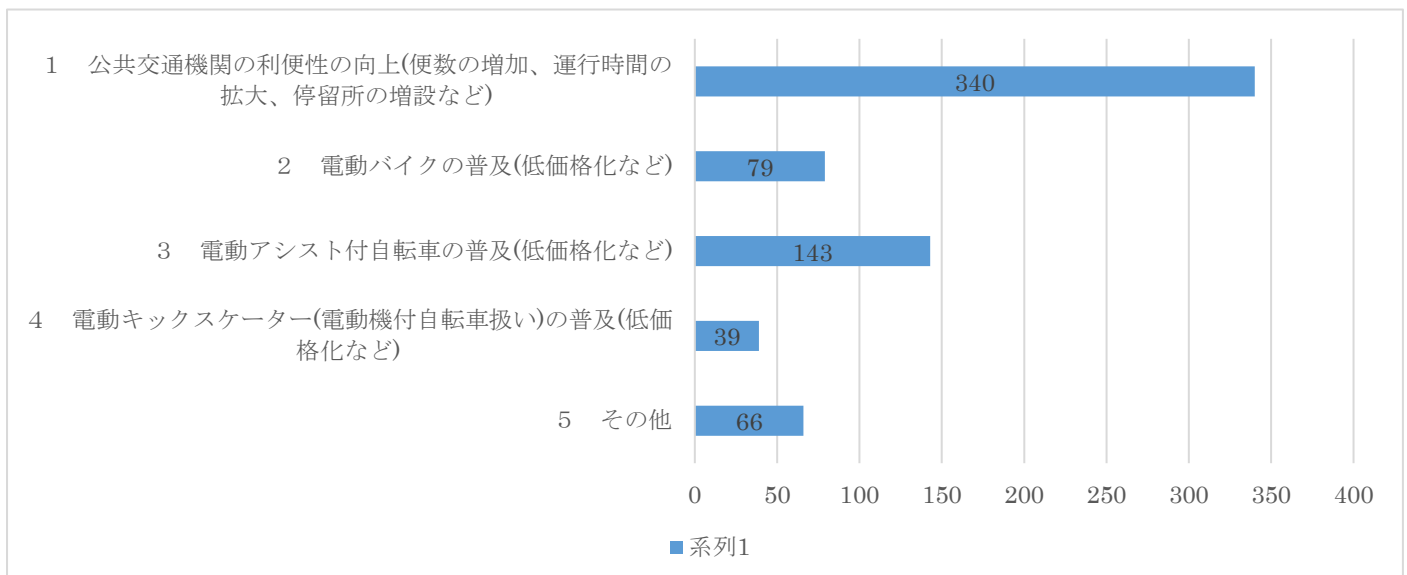
※回答者240名

【問23】問22で「4」を選択された方にお伺いします。自転車で通勤していない理由はなんですか。



※複数回答、回答者192名

【問25】自転車通勤に切り替える以外に、どうすれば自動車で通勤する人が減ると思いますか。



※複数回答、回答者453名